

きりやま

切山 地すべり対策

そうらくぐん かさぎちょう きりやま

(相楽郡 笠置町 切山)

笠置町切山地区は、木津川右岸の北側斜面に位置し、上部にある湿地帯、区域末端にある隆起部、また、地下水位が高いといった典型的な地すべりの特徴を有しています。地すべりが発生した場合、第一次緊急輸送路である国道163号と一級河川木津川に近接していることから、被害は地区内に留まらず広範囲に影響を与える恐れがあり、早急に対策する必要があります。

令和元年度は、対策工事の最終となる集水井工(1基)を実施する予定です。

◎事業概要

全体計画	H30までの実績	R元計画
H14～R元 集水井11基、集水横ポーリング7基 総事業費 1,714百万円	集水井10基、集水横ポーリング7基 事業費1,454百万円	集水井1基 事業費 260百万円 (H30補正40百万円含む)

◎事業効果

地すべり災害から保全対象の人家36戸、公民館(避難場所)、緊急輸送道路等の安全を確保します。

